

3

2009 MESSAGE 特集

学 生 キ ャ ン パ ス 副 学 長

Student Campus Presidentの活動

大学改革は教職員のみで成し遂げられるものではなく、重要な構成員でもある学生の協力も必要であると考え、本学では2008年度よりStudent Campus President (SCP)を各学部から学生1名を選出し、大学運営に参画させる取り組みを始めた。SCPは欧州の大学で置かれている「学生副学長 (Vice President)」を参考にしており、このような学生の大学運営への参画は全国でも前例が見られない。SCPを通して学生の視点を大学運営に取り入れることで大学のブランド力を向上させ、オンリーワンの大学づくりを目指している。

1. 制度概要

人 数	4名(各学部から1名)
任 期	1年間(8月から翌年度7月)再任なし
選 出	立候補による選挙
活 動 費	1人あたり30万円

- 大学エンブレム付きプレザーの支給
- 執務室の設置(薬学部棟1階)
- 学長より委嘱状の発行



SCPのエンブレム

2. 主な活動内容

- SCPの企画立案による大学ブランド力向上プロジェクトの推進
- 学内施設・サービスに関する改善提案
- オープンキャンパス、新入生オリエンテーション等の大学行事参加
- SCP活動の広報
(ブログ、SCP専用掲示板、学内掲示板、配付物等)



2008 SCP任命式

左から歯学部第3学年・廻智章SCP、薬学部第4学年・斉藤芳敬SCP、松田学長、看護福祉学部臨床福祉学科第3学年・上原尚敏SCP、心理科学部臨床心理学科第3学年・谷口真澄SCP(学年は2009年5月1日現在)

3. 2008 SCPの活動記録

【学外公務】

日程	活動内容
2008.10.24(金)	取材対応：進研アド「Between」の特集企画(全SCP)
12. 1(月)	取材対応：金沢大学FD・ICT教育推進室(全SCP)
2009. 3.12(木)	北海道札幌方面北警察署訪問(薬・歯SCP)
3.17(火)	取材対応：名城大学(薬・歯・看護SCP)
3.25(水)	北海道庁訪問(薬SCP)
3.26(木)	当別町商工会議所訪問(薬・心SCP)

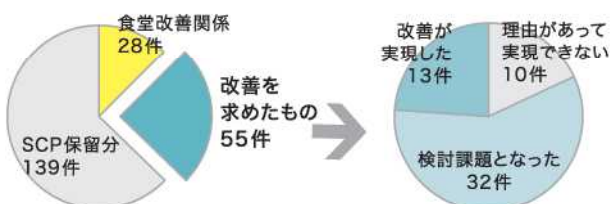
【学内公務】

日程	活動内容
2008. 9.16(火)	SCP任命式：齊藤芳敬(薬3)、廻智章(歯2)、上原尚紘(看護2)、谷口真澄(心・心2)が2008SCPに任命される
9.28(日)	第三回オープンキャンパス参加
10.8(水)～15(水)	大学に対するサービス、施設・設備等への要望・意見の募集
10.28(火)	SCPブログ運用開始
11.28(金)	活動報告(事務局長及び学務・広報総括参事)
12. 5(金)	活動報告(学長)

1 学内の設備・サービスに対する意見調査

学内に意見箱を設置し、大学の設備・サービスに対する意見を募ったところ、1週間で200件以上が寄せられた。これらの内容を纏め、大学へ改善要望したところ9項目(13件)が改善された。また、改善が実現しなくても学生の意見に対してきちんと対応し、回答を戻すことで学生の大学参画への意識改革につながった。

【アンケート結果】



保留のなかには、SCPが不適切と判断した案件(学則に反するものやSCPの活動にそぐわないもの等)や、件数が少ないためSCPで必要性が判断できなかった案件等が含まれる。

【実施された改善点(一部予定)】

- 一部トイレに音姫を設置(2009年度実施予定)
- D-2教室のエアコン修理(実施済)
- グラウンド物置の周囲や不要器具などの整理(2009年度実施予定)
- シャワー室のカーテン交換(実施済)
- 看護福祉学部棟ロビーのコンセント修理(実施済)
- 歯学部棟ロビー扉のフロアヒンジ及びチェッカーの修理(実施済)
- 歯学部棟2～4階廊下にテーブルを設置(実施済)
- 札幌あいの里キャンパス2階ロッカーの整理(実施済)

2 食堂改善プロジェクト

大学の設備・サービスに対する意見で一番多かったものは食堂に関するものであった。これを受け、全SCP共同の大学改革企画として「食堂改善プロジェクト」を立ち上げ、全学生及び教職員、大学関係者にアンケートを実施した。その結果、1,223件(総配付数の34.5%)の回答が得られ、これをもとに食堂の問題点を検討した。また、SCPは再組成された『食堂等利用者協議会』の構成員として会議に出席し、本協議会の代表として食堂業者と数回にわたる意見交流会を開催して改善策について協議した。

【食堂改善プロジェクトの活動内容】

日程	活動内容
2008.10.28(火)	アンケート結果についての報告ポスターの作成・掲示 食堂改善をすることを学内に周知する目的でポスターを掲示
11月下旬	札幌学院大学、北海道大学、札幌医科大学、北星学園大学の食堂視察(薬SCP他学生3名)
12.1(月)～12.12(金)	食堂改善に特化したアンケートを12月1日(月)に全学生及び教職員に配布
12.12(金)	『食堂の現状について学生との情報交換会』開催 食堂に対する不満・要望などを直接聞き取り、改善案について協議
2009. 1. 7(水)	食堂業者、大学事務(食堂担当部署等)との顔合わせ 名刺交換及び歓談を行い、今後のより良い食堂づくりへの協力を要請
2.12(木)	『第一回食堂等利用者協議会』出席 「食堂改善プロジェクト」をSCPが主体となって進めることが了承される
2.20(金)	『第一回食堂業者等との意見交流会』開催 食堂改善に関するアンケートの結果を提示し、食堂業者側の意見・感想等を聴取
3. 9(月)	『第二回食堂業者等との意見交流会』開催 食堂改善に関するアンケート集計結果に対する各食堂業者の返答を得る (SCPより食堂改善案を提出し、内容については協議)
3.18(水)	『樹デنشヨクとの意見交流会』開催 中央食堂、20周年記念会館食堂での個別改革案について協議
3.19(木)	『樹日総との意見交流会』開催 ピストロスマイル食堂、札幌あいの里キャンパス食堂での個別改革案について協議

【実現した改善案】

中央食堂	■ 内装の改修(壁紙交換や網戸の設置など) ■ 新品コップへの交換 ■ SCP参加の共同メニュー開発 ■ コーヒーティスベンサーの導入予定(コミュニティスペースとして開放) ■ テイクアウトメニューの販売
20周年記念会館食堂	■ 券売機の設置 ■ レディースメニュー・メガ盛りメニューの導入 ■ 新品コップへの交換 ■ 期間限定企画(お弁当販売やバイキング開催等)の実施を検討
ビストロスマイル食堂	■ 期間限定メニューやフェアメニューの導入 ■ 混雑緩和に向け座席のレイアウトや配膳時の動線の見直し
札幌あいの里キャンパス食堂	■ メニューのカロリー表示 ■ テーブル布巾の設置 ■ 券売機の移設 ■ 食堂ピーク時以外でのカフェスペースとしての活用を検討中
全食堂	■ 箸アンケート®の実施

※「箸アンケート」とは、下膳時に出る箸を利用したアンケート集計であり、食堂利用者がサービス内容に対して○あるいは×のどちらかに投票させるシステムで、それぞれの重量によってその食堂の満足度を調査するものである。満足度の経時的変化を調査することができるため、前日の結果を上回るよう食堂従業員の意識改革につながり、実際に効果が出始めている。



SCPと食堂業者との意見交流会



学外で視察も行い改善に努めた

3 SCP広報活動

進研アド「Between」や金沢大学FD・ICT教育推進室、名城大学による取材や、2008年度第三回オープンキャンパスの参加、本学広報誌「ADVANCE」や2009年度学生便覧への記事掲載を通して、SCP制度について広報活動を行った。また、2009年度新入生宿泊オリエンテーションに参加したり、専用ブログ、SCP専用掲示板、学内掲示板、配布物等を利用して随時SCPの活動報告を行い、SCPについて周知されるよう努めた。

★ カワイイランチ ★
 なんてどう?
 数量限定
 うれしいデザート付
 女子に嬉しいポリコーン感
 写真はイメージです。おかずは日によって変わります。
 レディースランチ 400円

男共よ食べ!
 数量限定
 ご飯はもちろん大盛!!
 おかずの量がハンパねー!!
 写真はイメージです。おかずは日によって変わります。
 大盛メガランチ 550円

20周年記念会館食堂で実現した新企画メニュー



オープンキャンパス参加
(当別キャンパス)



オープンキャンパス参加
(札幌あいの里キャンパス)



金沢大学FD・ICT教育推進室 取材風景



名城大学 取材風景

4 その他のプロジェクト

「食堂改善プロジェクト」と並行して、以下のプロジェクトを提案し、中心となって活動するSCPを配属した。各プロジェクトを推進させるため、北海道庁や北海道方面北警察署、当別町商工会議所等の学外団体を表敬訪問し、アドバイスを受けた。

大学ブランド商品の開発

[担当SCP]薬学部

大学のブランド化を目指し、2008SCPでは薬用植物を利用したオリジナルハンドクリームの開発を行っている。

名札作成

[担当SCP]薬学部

大学構内での盗難、殺人事件などの犯罪が全国で見られ、来訪者の多い本学においても対策を講じる必要がある。学外者と大学関係者を判別するために名札を作成し、着用を義務づける計画である。また、学生・教職員の大学への帰属意識を高め、より良い大学づくりのための土台構築を目指す。

成績向上プロジェクト

[担当SCP]薬学部

学生が勉強に取り組みやすいようSCPが学習方法を提案することにより、学習意欲を促進する。学生がこのプロジェクトを日々の学習に役立て、学力が向上することを目指す。

薬物乱用対策プロジェクト

[担当SCP]薬学部、歯学部

昨今、社会問題となっている青少年による薬物乱用に対して、医療を志す学生として啓発活動を行う。本プロジェクトでは有志学生による勉強会・講演会等を考えており、自身の薬物に対する知識を深める場としても活用したい。

講義改革プロジェクト

[担当SCP]歯学部

授業アンケートをもとに学生と教職員との意見交流会を開催し、講義に学生の意見が反映させられるような仕組みを作る。

救命救急受講200人計画

[担当SCP]歯学部

全学生の10人に1人がAEDの取扱いをマスターできるよう、消防署主催の講習会の参加を呼び掛け、より臨床的な医療人育成を目指す。

学生名刺作成プロジェクト

[担当SCP]看護福祉学部

学生に社交マナーを備えさせ、社会で通用する学生の育成を目指す。名刺については、大学ブランドの商品として販売することも考えている。

学部間交流プロジェクト

[担当SCP]心理科学部

医療系総合大学という特色を生かして、学部を越えた意見交流を通してチーム医療の先駆けを行い、学生の視野拡大を目指す。

4. 2008 SCPから関係者の皆様へ

学生の意見を大学運営に反映させようという大学のフレキシブルさに大変感激しました。Student Campus Presidentという大役を、さらにその初年度を任せられるということを大変光栄に思うとともに、活動費やプレザーの支給、執務室の設置などから大学の「本気度」が伺え、プレッシャーを感じておりました。全国でも前例がないことから、勝手が分からず、関係者の皆さんには大変なご迷惑をおかけしていることかと思いますが、多くの方の温かいご支援、ご協力により何とか今日まで任務を全うすることができました。導入初年度ということで、学生からのバックアップがまだ少なかったところが残念ですが、私たちの活動が結実することでSCPへの信頼感、大学への参画意識が向上し、教職員との三位一体となった大学改革が実現されることと信じております。

SCPに就任して多くの人と出会い、話を聞き、考え、活動してきたことで、様々な視点から考える思考力・コミュニケーション能力・問題解決力や行動力などが大きく向上し、自身の人生における大きなステップアップにつながったと感じています。SCPで高められたこのような「学生力」は医療人に必要なものに通ずると感じており、SCP制度は「新医療人育成の北の拠点」を目指す北海道医療大学にまさにうってつけなものであると思います。学生の本分である学業との両立は決して楽なものではありませんが、SCPで得られたとても大きな経験に感謝するとともに、最後まで責任を持って一生懸命やり遂げたいと思います。